

平成27年(2015年)4月6日

校長 内堀 繁利

この4月から校長になりました、内堀繁利です。
よろしくお祈いします。

新入生は入学式以来の、在校生は久々の登校でしょうか。

全日制の始業式は3日の金曜日に行いましたが、定時制の始業式は今日行っています。

その理由を先生方に訊いたところ、4日の入学式でまず学校として新入生を迎えたが、今日は、最初に先輩が新入生を歓迎する対面式を行って、全員揃ったところで、そのあと今年度の始業式をしたいということです。ずっとこうしている、ということでした。

全日のやり方は全日でいいと思いますし、定時のこういうやり方も、アットホームというかファミリーな感じがして、いいと思います。

まずは、ここ数日間に話題になったことの中から3つほど話したいと思います。

一つ目は、先程の対面式の中でサッカー班の勧誘があったので、サッカーに詳しい人もいるんだと思いますが、昨日、J2の「横浜FC対ジュビロ磐田」の試合で、横浜FCのカズこと、三浦知良選手がゴールを決めました。それがなんと48歳1か月、すごいですね、20代や30代前半で現役を引退するプロ選手が多い中、J2とは言え、48歳と1か月で、自身の持つJリーグ最年長ゴール記録を更新して、ヨーロッパでは今「奇跡」と言われているそうですが、ワールドカップの日本代表選手の選考に最後の最後で漏れたり、J1からJ2に落ちたりしても、サッカーが大好きで「生涯現役でいたい。サッカー選手以外は考えられない」と語り、若手と同じかそれ以上の練習を自分に課していると言います。

二つ目は、その前の日の4日、水泳選手の長岡三重子さんという人が大きな話題になりました。なぜ話題になったかという、その人はなんと100歳なんです。100歳で現役のスイマーをしていて、大会で女子1500メートル自由形に出場して、世界で初めて100歳以上で完泳を果たしたそうです。ゴールの後「寿命があれば105歳まで泳ぎたい」と笑顔を見せたと言いますが、記録は1時間15分54秒39だそうで、その間ずっと泳ぎ続けていたんですね。このおばあちゃんは、53歳で旦那さんを亡くして、そのあと94歳まで一人で旦那さんの仕事を継ぎ、2人の子どもを育てたと言いますが、驚くべきことに、水泳を本格的に始めたのは80歳の時なんだそうです。80歳ですよ。傷めた膝のリハビリが目的で最初はほとんど泳げなかったそうですが、「始めたことは、とことんやる性分」で、今では、長岡さんの持つ世界記録は25種目もあるんだそうです。

最後、三つ目、これも4日のことです。これが一番多くの人知っている話題かもしれませんが、音楽プロデューサーで「シャ乱Q」というバンドのボーカルのつんくみさん、46歳ですが、母校の近畿大学の今年の入学式をプロデュースし、式にも登場したのですが、そこで初めて、自分が癌で声帯を全摘出し、声を失ったことを公表しました。芸能人の中には、仕事を優先し、声が出続ける限り声を出し続けて亡くなっていった人もいましたが、つんくみさんは、家族がいる、自分がプロデュースしている若い子たちがいると、一番大切な声を失っても生きることを選んだと言います。とても感動的な入学式でしたが、その翌日の昨日、また新しいニュースが流れました。つんくみさんが、「食道発声法」という、食道の一部を振動させる発声法をマスターしてもう一度自分の声で話したいと言っている、というのです。機械を使えば声が出ないこともないようなのですが、つんくみさんがプロデュースしているハロプロも絶対に「口パク」はしないと聞きますので、自分も全部自分の肉体で声を出したいと考えたのでしょうか、新たな挑戦を始めたと言います。

この3つの話を聴いて、とても感動したし、勇気をもらいました。自分もまだまだ老け込んでいる場合じゃない、もっと頑張ろうと思いました。

この上田高校には、「文武両道」「自学自習」という、2つの伝統があります。

文武両道というのは、勉強も班活も、そのほかのことも、一つと決めないで、何でも全力で一生懸命やろうぜ、という意味です。

自学自習というのは、やらされて勉強するな、自分の意志で勉強しろ、という意味です。

「これしかできない」と勝手に自分に自分の枠をはめてしまうのではなく、勇気を持って枠を取っ払い、自らの意志で勉強やほかの様々なことに挑戦すること、自分の頭で考えること、そういうことを本校は伝統としてきました。

私を含め、他の学校の先生もそうですが、この学校の定時制の先生方も、その人生の中で病気だとか、大切な人の死だとか、様々な体験をし、紆余曲折を経て皆さんの前に立っています。自分の経験を教師として皆さんの教育に活かそうと考えています。皆さん一人一人を大切にしようとしています。時にはどえらく厳しく叱るかもしれませんが、中学まで教室に入れなかった生徒が皆勤で学校に来たと言って喜び、勉強に興味がなかった生徒が大学に入学したと言って喜ぶような人たちです。

皆さんも、当然これまでいろいろなことがあったと思いますし、これからも悩んだり、苦しんだり、失敗したり、いろいろなことがあるでしょう。でも、それらすべてを糧にして、自分の意志で前向きに頑張っていってほしいと願っています。

皆さんの可能性にうんと期待しています。この学校でともに学び成長しましょう。

今年1年よろしくお祈りします。終わります。